

水産海洋地域研究集会

第4回北海道水産海洋研究集会
— シシャモの生態と資源回復に向けた最新研究 —

主催：一般社団法人水産海洋学会

後援：道総研 水産研究本部，北海道栽培漁業振興公社

日時：2019年1月17日(木) 13:00～17:00

場所：かでの 2.7 710 会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）

コンピーナー：三原行雄（道総研栽培水試），石田良太郎（道総研さけます内水試），新居久也（北海道栽培公社），岡田のぞみ（道総研栽培水試）

総合司会：未定

挨拶：大関芳沖（一般社団法人水産海洋学会長）

13:00～13:10

趣旨説明：三原行雄（道総研栽培水試）

13:10～13:30

座長：未定

話題：

1. mtDNA 情報および脊椎骨数から見たシシャモの集団構造

武藤望生（東海大生物） 13:30～13:55

2. 道東～道南海域に生息するシシャモの生態と資源量変動

山口浩志（道総研中央水試）・岡田のぞみ（道総研栽培水試） 13:55～14:20

3. シシャモの産卵遡上生態

新居久也（道栽培公社） 14:20～14:45

4. 飼育下におけるシシャモの成長・成熟過程と飼育実験による基礎生態の解明

石田良太郎（道総研さけます内水試） 14:45～15:10

— 休憩 —

15:10～15:20

座長：未定

5. 環境 DNA 解析によるシシャモの河川遡上モニタリング

荒木仁志・八柳 哲（北大院農） 15:20～15:45

6. 鵒川漁業協同組合におけるシシャモの資源管理に向けた取り組み

小定雅之（鵒川漁協） 15:45～16:10

7. シシャモ資源の加入量変動機構解明に向けて

石田良太郎（道総研さけます内水試） 16:10～16:35

総合討論 三原行雄（道総研栽培水試）

16:35～17:00

開催趣旨：近年のシシャモ資源量は生息域全域で減少傾向を示している。とりわけ2013年以降の鵒川系シシャモ資源量減少は著しく、1995～2010年代には概ね100～200トンで変動していた漁獲量は2014年には12トンにまで減少した。これを機に鵒川系シシャモを対象とした様々な研究が展開されるようになり、ここ数年間で、これまで不明な点が多かった本種の基礎生態が少しずつ明らかになってきた。本シンポジウムでは、これら最新の研究成果を紹介し、シシャモという魚類に対する理解を深めるとともに、本種の持続的利用について考える。